

環境レポートに対する御意見について

1. 環境レポートの配布状況及び市民からの御意見の件数

配布数：4,560 冊

配布先：各区役所（エコまちステーション含む），図書館，文化交流施設（各文化会館，京都市勧業館「みやこめっせ」など），環境教育施設（京エコロジーセンター，キャンパスプラザ京都など）に配架

環境保全活動イベント，環境教育研修等の際に配布

※本市のホームページに掲載し情報を発信

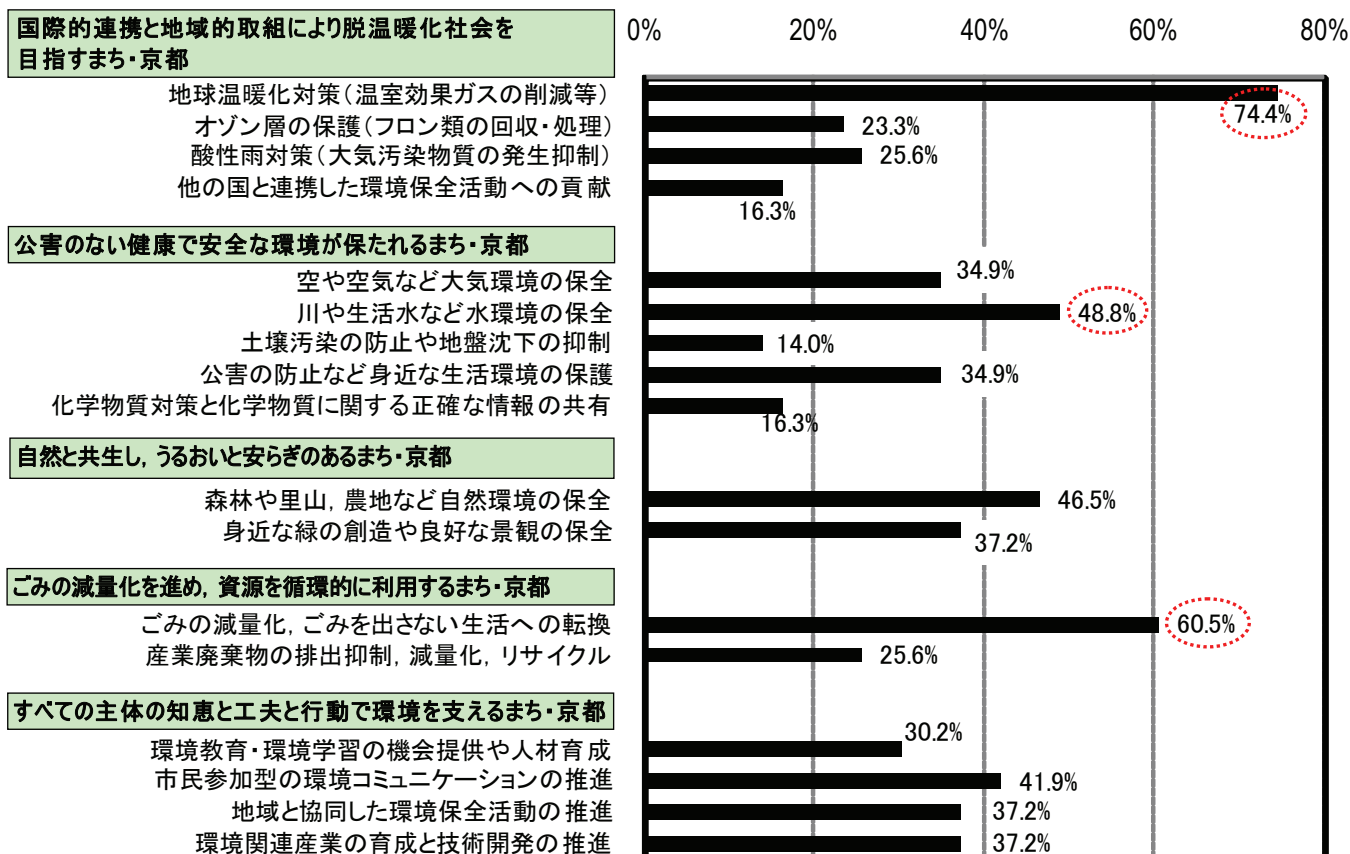
御意見の募集期間：平成 22 年 4 月 15 日～8 月 31 日

御意見の件数：総数 44 件（専用葉書 8 件，FAX や郵送 21 件，ホームページ 15 件）

質問に対する回答・御意見について以下に示す。

質問1 あなたは環境保全に関して興味・関心のある分野はありますか(複数選択式)。

「地球温暖化対策（温室効果ガスの削減等）」が 74.4%と最も高く，次いで，「ごみの減量化，ごみを出さない生活への転換」が 60.5%，「川や生活水など水環境の保全」が 48.8%であった。



質問2 あなたが環境保全のために取り組んでいることや今後取り組もうと思っていることがありますらお書きください。

(1) 環境保全のために取り組んでいること

- ・「ごみの減量化を進め、資源を循環的に利用するまち・京都」に関する取組が 33 件と最も多く、次いで、「国際的連携と地域的取組により脱温暖化社会を目指すまち・京都」に関する取組が 31 件となっていた。
- ・「ごみの減量化を進め、資源を循環的に利用するまち・京都」では、分別・リサイクルだけでなく、発生抑制（リデュース）や再使用（リユース）などの上流対策にも取り組まれている。
- ・「国際的連携と地域的取組により脱温暖化社会を目指すまち・京都」の省エネルギー等の取組では、節電等の取組だけでなく、LED への切り替え、太陽光発電設備や緑のカーテンの設置などにも取り組まれている。

「国際的連携と地域的取組により脱温暖化社会を目指すまち・京都」の取組(31 件)

基本施策分野	意見内容
地球温暖化対策の推進 省エネルギーの推進(16 件)	・ 暖冷房機器利用時の配慮（4 件） ・ 節電（3 件） ・ 照明機器使用の適正化 ・ 待機電力の低減 ・ オール電化の実施 ・ 電灯を蛍光灯や LED 電球にかえる ・ 太陽光発電設備を設置 ・ ゴーヤ緑のカーテンの設置 ・ ミニ菜園を借りた地産地消 ・ 国内産の食品購入を心がける ・ 近くで生産された無農薬栽培の食品を選ぶ
地球温暖化対策の推進 自動車からの二酸化炭素排出削減対策の推進（15 件）	・ エコドライブを心がける（4 件） ・ 公共交通機関を利用する（4 件） ・ 公共交通機関や自転車を利用する（2 件） ・ 自転車を利用する（3 件） ・ エコカーへ乗り換える（2 件）

「公害のない健康で安全な環境が保たれるまち・京都」の取組(8 件)

基本施策分野	意見内容
水環境の保全 （8 件）	・ 節水（6 件） ・ 水を汚さない（2 件）

「自然と共生し、うるおいと安らぎのあるまち・京都」の取組(1 件)

基本施策分野	意見内容
快適環境の確保 緑の保全と創造（1 件）	・ 生垣や庭の緑化

「ごみの減量化を進め、資源を循環的に利用するまち・京都」の取組(33 件)

基本施策分野	意見内容
一般廃棄物対策の推進 発生抑制・再使用を重視した ごみ減量化の促進 (18 件)	・マイボトルやタンブラーを持参する (5 件) ・ごみを減らす (3 件) ・エコバックを持参する (3 件) ・食品等のごみを減らす (2 件) ・レジ袋をもらわないようにする (2 件) ・簡易包装を心がける ・紙類のごみを減らす ・いらないものは買わない
一般廃棄物対策の推進 分別・リサイクルの拡大 (13 件)	・ごみの分別 (6 件) ・紙類の回収に協力する (2 件) ・紙類を再利用する (2 件) ・ペットボトルを再利用する (2 件) ・携帯電話の希少金属のリサイクル
一般廃棄物対策の推進 適正処理の推進 (2 件)	・生ごみ・落ち葉等をたい肥化する (2 件)

「すべての主体の知恵と工夫と行動で環境を支えるまち・京都」の取組(3 件)

基本施策分野	意見内容
環境保全活動の促進 市民の環境保全活動の促進 (1 件)	・家で弟と一緒に様々な無駄をカットしようとしている
広範な主体の参加と環境コミュニケーションの推進 地域コミュニティの活性化 (2 件)	・清掃活動に参加する (2 件)

(2)環境保全のために、今後取り組もうと思っていること(18 件)

「ごみの減量化を進め、資源を循環的に利用するまち・京都」に関する取組が 8 件と最も多く、次いで、「国際的連携と地域的取組により脱温暖化社会を目指すまち・京都」に関する取組が 5 件となっていた。

基本施策分野	意見内容
国際的連携と地域的取組により脱温暖化社会を目指すまち・京都(5 件)	
地球温暖化対策の推進 省エネルギーの推進 (2 件)	・ パソコン使用を控える ・ シャワーの水を出しっ放しにしない
地球温暖化対策の推進 新エネルギーの導入促進 (1 件)	・ 自然エネルギーを利用したい
地球温暖化対策の推進 自動車からの二酸化炭素 排出削減対策の推進 (2 件)	・ 電気自動車などの環境配慮車へ乗り換える ・ カーシェアリングに取り組む
自然と共生し、うるおいと安らぎのあるまち・京都(1件)	
自然環境の保全 生物多様性の保全 (1 件)	・ 川のごみを取り除き、多様な生き物が住みやすい場所にしたい
ごみの減量化を進め、資源を循環的に利用するまち・京都(8 件)	
一般廃棄物対策の推進 発生抑制・再使用を重視 したごみ減量化の促進 (3 件)	・ 買い物にエコバックを持参する ・ ペットボトルや空き缶の減少に努める ・ リユースペットボトルを対象としたデポジット制度の導入について研究したい
一般廃棄物対策の推進 分別・リサイクルの拡大 (5 件)	・ ごみ分別の知識を身につけたい ・ ごみをきちんと分別できるようになりたい ・ 紙パックなどの回収ボックスを利用する ・ 雑誌や紙ごみを古紙回収車に渡す ・ 店舗等にある白色トレイなどの回収ボックスを利用する
すべての主体の知恵と工夫と行動で環境を支えるまち・京都(4 件)	
広範な主体の参加と環境コミュニケーションの推進 広範な主体による参加の 促進 (3 件)	・ 市の様々な取組に参加したい ・ どのような環境保全の取組があるのかを知りたい ・ 環境保全の重要性について普及・啓発する
環境関連産業の育成と技術開発の推進 グリーン商品・サービス等の普及 (1 件)	・ グリーン認証商品を購入する

質問3 環境保全のため、京都市がさらに取り組むべきことは何だとお考えですか。

「国際的連携と地域的取組により脱温暖化社会を目指すまち・京都」の取組に関する意見が 18 件と最も多く、次いで、「すべての主体の知恵と工夫と行動で環境を支えるまち・京都」の意見が 13 件となっていた。

「国際的連携と地域的取組により脱温暖化社会を目指すまち・京都」の取組(18 件)

基本施策分野	意見内容
地球温暖化対策の推進 総合的かつ計画的な地球温暖化対策の推進（2 件）	・ 環境家計簿が広がるように、何からのインセンティブをつけて欲しい。 ・ サマータイムを導入する。
地球温暖化対策の推進 新エネルギーの導入促進（1 件）	・ 太陽光発電を普及させる。
地球温暖化対策の推進 自動車からの二酸化炭素排出削減対策の推進（15 件）	・ 公共交通利用促進のため啓蒙活動を強化する。 ・ 観光客マイカーの中心地への乗り入れを規制する（市内中心部には公共交通機関以外は入れない）。 ・ 四条通をタクシーとバス以外は通行止にして、自転車専用道路にする。 ・ タクシー、自家用車の台数を制限する。 ・ 市内中心部の慢性的な渋滞を解消するため、路面電車の運行について検討する。 ・ CO₂排出削減のため、バスを路面電車にかえる。 ・ 市バスの赤字路線ではバスの小型化等について検討する。 ・ もっと遅い時間までバスを運行してほしい。 ・ 地下鉄の赤字解消のため、新しい観光地を創造、発掘する。 ・ 自転車置場を増やす。 ・ 交通量が多すぎるため、自転車利用を促進する。 ・ 電柱を地中化し、自転車専用道路を設ける。 ・ 市が取組む EV カーシェアリングの貸出場所を各区に 1 箇所設置する。 ・ 観光地に配慮したパークアンドライドをもっと導入する。 ・ 乗用車の旧型車の観光地や市内への乗り入れを禁止する。

「公害のない健康で安全な環境が保たれるまち・京都」の取組(1 件)

基本施策分野	意見内容
大気環境の保全 移動発生源対策の推進（1 件）	・ トラックの排出ガス規制を、大阪市並みかそれ以上に強化する。

「自然と共生し、うらおいと安らぎのあるまち・京都」の取組(8 件)

基本施策分野	意見内容
自然環境の保全 農地の保全と活用 (1 件)	・ 国産食材の使用を推進する。
自然環境の保全 自然とのふれあいの確保 (1 件)	・ 頭で考えるだけでなく体験の機会や、子どもパークレンジャーの大人版など、自然を大切にしようと思えるきっかけを提供する。
快適環境の確保 都市景観の保全 (2 件)	・ 町家の保全（マンション建設により自然を大切にしたい暮らしができなくなり、地域環境悪化にもつながっている）。 ・ 看板の大きさ、色などを統一し、京都らしいまちづくりを推進する。
快適環境の確保 緑の保全と創造 (4 件)	・ ビルの屋上や今まで利用されていないような場所の緑化を推進する。 ・ まちなかに緑を増やすように個人や会社の緑化を推進する取組を進める。 ・ まちなかに緑を増やすように公園を緑化する。 ・ 市内の緑化を推進する。

「ごみの減量化を進め、資源を循環的に利用するまち・京都」の取組(9 件)

基本施策分野	意見内容
一般廃棄物対策の推進 発生抑制・再使用を重視したごみ減量化の促進 (3 件)	・ 指定ごみ袋の徹底化を図るべき。 ・ 家庭ごみ有料指定袋は間口が小さく使いづらいので改良してほしい。 ・ レジ袋を渡さない、または渡す前に必要かどうか確認するような販売店を増やす取組を進める。
一般廃棄物対策の推進 分別・リサイクルの拡大 (4 件)	・ ごみ分別のパンフレットに具体例を多く載せ、分別の意識を高められるよう工夫する。 ・ 新聞等の回収は、チラシ類だけでも回収してほしい。 ・ ごみの分別はもっと厳しくしてほしい。 ・ ごみの分別を細分化する。
一般廃棄物対策の推進 適正処理の推進 (2 件)	・ ペットボトル、プラスチック製品の処理に税金を使わないでほしい。 ・ 学校、公園などに堆肥場をつくる。

「すべての主体の知恵と工夫と行動で環境を支えるまち・京都」の取組(13 件)

基本施策分野	意見内容
環境教育・学習の推進 総合的な環境教育・学習の推進	・ 環境教育を推進する。

基本施策分野	意見内容
環境保全活動の促進 市民の環境保全活動の促進（11件）	・京都市には有言実行を求めるとともに、市民の見本になるよう、先を考えた取組をお願いします。 ・環境保全に関する市民意識を向上させるため、イベントや広告等を実施してほしい。 ・ごみの減量やリサイクルは宣伝されているが、そのほかに市民が何をすべきかをもっと知らせて欲しい。 ・様々なネットワークを活用し、まずは身近な取組を知ってもらうようにする。 ・市民に環境保全の取組に対する興味を持ってもらい、参加してもらえるような取組が必要。 ・市民が取り組まなければならないことをわかりやすく知らせてほしい。特に子どもの時から学ぶことは大切である。 ・市民の環境活動への興味・関心を高めるための広報活動などを充実させる。 ・一般市民への積極的なPRが必要。 ・どのような目標を掲げ、どのような取組をしているかを市民にもっと知ってもらう。 ・他都市への宣伝・行動を推進する。 ・家庭とのコミュニケーションが取り組むべき課題である。
広範な主体の参加と環境コミュニケーションの促進 地域コミュニティの活性化	・各コミュニティに環境保全委員を置き、地元で活動しやすくするシステムを構築する。

その他(7件)

分野	意見内容
環境レポートに関すること(4件)	・環境レポートはもっとわかりやすくPDCAを分けてほしい。 ・環境レポートは記事が多いので、文章を短くするなどして読みやすいものにするとよい。 ・環境レポートは書かれている内容や分量が多いので、もう少し少ない方がよい。 ・生活していても、市が何をしてくれたのかわかりにくい。各区ごとの実施内容を公表してほしい。
その他(3件)	・自転車免許制にして、運転モラルを向上させる。 ・走行速度制限、交差点一旦停止または徐行、違反車の取締りなどの自転車の安全走行対策を実施してほしい。 ・京都市民でない観光客などに、負担をかけず環境保全に取り組んでもらえるような仕組みについて検討する。

「京都いつでもコール」と「市長への手紙」に寄せられた市民意見について

環境レポートのほかに、市民の皆様から御意見が寄せられる「京都いつでもコール」、「市長への手紙」について整理した。

「京都いつでもコール」の内容

京都いつでもコールとは：市政の事務や制度、イベント、施設などに関するお問合わせを受け付け、お答えするサービス

集計期間：平成 22 年 4 月～8 月末

集計対象：環境政策局が取組む事業や所管する施設に対して寄せられた御意見

件数：全 1,876 件（全市総数は 26,934 件）

集計結果：「イベントに関すること」が 955 件（50.9%）

「ごみの回収、ごみの分別・出し方に関すること」が 409 件（21.8%）

「市施設の住所、電話番号等の連絡先について」が 196 件（10.4%）

	件数	割合	主な問合せ内容
イベント(環境保全活動)に関すること	955	50.9%	・市役所前で実施しているフリーマーケットに関すること ・施設見学会(エコバスツアー等)に関すること
ごみの回収、ごみの分別・出し方に関すること	409	21.8%	・ごみ回収(日時、場所)に関すること ・ペットや死獣(野生動物などの死体)処理に関すること ・石油ファンヒーター、電子レンジ、調理器具等の廃棄に関すること ・大型ごみ(手数料券、収集日)の出し方に関すること
市施設の連絡先の問合せ	196	10.4%	・関係課の連絡先(住所、電話番号) ・大型ごみ搬入先の連絡先 ・動物、ペットの死骸処理を担当する機関の連絡先
市の助成制度に関すること	151	8.0%	・太陽光発電システムの助成に関すること ・電動式生ごみ処理機、生ごみコンポストの助成に関すること ・カラスよけネットの貸出に関すること
苦情・通報	106	5.7%	・騒音・振動・悪臭に関する苦情 ・ごみ回収に関する苦情、不法投棄に関する通報 ・公衆トイレの不具合等に関する通報
EV カーシェアリングに関すること	11	0.6%	・EV カーシェアリング申込方法等
その他	48	2.6%	—
合 計	1,876	100%	

「市長への手紙」の内容

市長への手紙とは：市民の皆様の市政への参加を図り、開かれた市政をより一層推進するとともに、行政施策の充実に資することを目的に、市民の皆様から広く市長に対するご意見、ご提案などをお聴きする制度

集計期間：平成 22 年 4 月～9 月末

集計対象：環境政策局が所管する施策に対して寄せられた御意見

件数：全 52 件（全市総数は 1,117 件）

集計結果：環境保全、公害に関する通報や苦情、要望が多かった。

【主な御意見】

- ・もっと積極的に、たばこやごみのポイ捨てに取り組んでほしい。(2 件)
- ・電動式生ごみ処理機等購入助成金の制度について教えてほしい。(3 件)
- ・使用済てんぷら油の回収場所がわからない。(2 件)
- ・大型ごみの処分方法や手数料の使途について教えてほしい。

京都市基本計画第 1 次案への御意見について

集計期間：平成 22 年 5 月 21 日～6 月 20 日（31 日間）

集計対象：京都市基本計画第 2 次案に反映させていただいた「環境」に関する御意見

件数：全 39 件（総数は 322 名の方から 692 件）

集計結果：「まちの美化に関すること」が 23 件

「自然環境・生活環境の保全に関すること」が 7 件

「地球温暖化対策に関すること」が 4 件

	主な内容
まちの美化に関する こと (23 件)	・きれいなまちにしてほしい(11 件) ・分別を徹底し、資源化すべき(6 件) ・ごみを出さない施策を実施すべき(3 件) ・ごみの分別などコストなどを考えて、「真に」環境によい事業を行ってほしい ・ごみ袋の値下げをしてほしい ・缶、びん、ペットボトル等を回収時に一緒にトラックのなかへ入れるのはおかしい
自然環境・生活環境の保全に関する こと(7 件)	・豊かな自然環境が大切(4 件) ・空気や水をきれいに保つべき(3 件)
地球温暖化対策に 関すること(4 件)	・生活のなかでできる温室効果ガス排出量削減の促進(2件) ・地球温暖化、ごみの問題は放ってはおけない事実 ・温暖化対策に科学技術を活用
その他(5 件)	・環境分野に産業政策として力を入れることが重要 ・すべて自然エネルギーへ転換するなど徹底することによるインパクトが必要 ・カーシェアリングへの取組 他 2 件